



旧福岡高校の全景

# 平成27年度 一般会計決算認定等

## 持続可能な財政のために

### 平成27年度 一般会計決算の認定

財政指標の分析と今後の見通しについて。

財政の弾力性を示す経常収支比率は、90・0%で昨年度より1ポイント上昇した。

公債費比率などの財政指標は、比較的低い数値だが、広域ごみ処理施設等建設事業や、なの花学校給食センター整備事業などの大型事業を合併特例債を活用して推進してきており、その償還は平成30年度にピークを迎える見通し。

さらに、合併特例期間満了における普通交付税も

年々削減されるため、今後は厳しい財政運営が予測される。

監査委員の決算審査意見書を受けての対応方針は。

現在恩恵を受けている普通交付税の合併算定替えの特例が、今年度から段階的に縮小し、平成33年度には、7億円程度減少する見込み。さらに、今後、社会保障関連経費の増加、公共施設の老朽化が進むなど、財政課題が山積しており持続可能な行政運営を行うための継続的な取り組みが必要。

歳入面では、市税等の徴収率向上、企業誘致の早期実現、受益者負担の適正化

有料広告収入の拡大など歳入確保の強化に注力する。

歳出面では、事務事業の見直し、更なる行政改革の推進、計画的な基金への積み立てを行い、将来を見据えた財政運営を図る。

### 平成27年度 国民健康保険特別会計決算の認定

税率改正が歳入にもたらした影響は。

今後の医療費の増加に対応し、持続可能な国保財政の運営のため基礎課税額の課税方式を4方式から2方式に変更するとともに税率を改正した。

被保険者一人あたり約7

400円の増額となっているが、被保険者数の減少があり、保険税全体では、約6600万円の増額に留まっている。仮に税率改正していなかった場合は、3億600万円を一般会計に依存することとなっていた。

上げていくのか、検討の必要がある。

### 平成28年度一般会計補正予算 道路改良事業

大井中学校前道路改良工事設計委託料の内容は。

大井中学校前の市道第5185号線は、従来から大型車同士のすれ違いが困難な箇所があり、市の長年の懸案事項である。

旧福岡高校跡地利活用の内容と今後の進め方は。

県から旧福岡高校跡地を取得し、体育館と格技場以外の解体工事、グラウンドの整備のための基本設計や体育館の改修工事に伴う実施設計を行う。その後、体育館の改修工事と格技場の耐震補強及び改修工事を実施する。

### 公園新設事業

なお、グラウンドの整備方法等はこれから行う基本設計で利用団体等の意見を伺いながら検討する。

## 平成27年度 一般会計 決算の特徴

※万円未満四捨五入

### 歳入 …増減した主なもの

市民税	27年度 74億3760万円	前年度対比 9732万円増
26年度	73億4028万円	
固定資産税	27年度 64億6412万円	前年度対比 1146万円減
26年度	64億7558万円	
地方交付税	27年度 38億2010万円	前年度対比 1億9596万円増
26年度	36億2414万円	
市債	27年度 92億5739万円	前年度対比 30億5813万円増
26年度	61億9926万円	

歳入 決算総額 493億8459万円  
前年度対比 21.1%増 (86億1821万円)

歳入歳出差引額 22億7569万円

歳出 決算総額 471億890万円 実質収支額 15億2790万円  
前年度対比 22.7%増 (87億2356万円)

翌年度へ繰り越すべき財源 7億4779万円

### 歳出 …増減した主なもの

人件費	27年度 53億4420万円	前年度対比 5744万円減
26年度	54億164万円	
扶助費	27年度 89億9996万円	前年度対比 5億7917万円増
26年度	84億2079万円	
公債費	27年度 32億3057万円	前年度対比 5億3480万円増
26年度	26億9577万円	
普通建設事業費	27年度 140億7319万円	前年度対比 59億9285万円増
26年度	80億8034万円	

- ◆議案に対する総括質疑
- 青 藍会 西 和彦 議員
- 日本共産党 足立志津子 議員
- 日本共産党 床井 紀範 議員
- 公明党 川畑 京子 議員